

2018 9/11

No.2074

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経かながわ

一般社団法人  
—神奈川政経懇話会—



「防災の日」の1日、首都圏の9都県市による合同防災訓練は、国の基幹的広域防災拠点となっている川崎市川崎区の東扇島を中央会場に実施。消防や警察、自衛隊、自主防災組織など約140機関から約8千人が参加し連携を確かめた。



## contents

視点・点描 3

消費のかたちが変わる

経済 4

地銀を蝕むもう一つの副作用

潜在的な不良債権が蓄積

国際 6

領土問題から戦後を考える

本の森～「竹島問題の起原」

社会 8

成年年齢18歳へ引き下げ（上）

親として子に何を伝えるか

くらし2018 10

心不全患者も運動を

企業最前線 12

ハイテク化するスポーツ衣料

進む高機能繊維の活用

アジアの風 14

たった1人の戦後処理

NNAアジア経済リポート 15

### 事務局だより

◇2018年9月定例講演会

2018年9月19日（水）

午後1時30分～3時

ホテルモントレ横浜3階「ビクトリア」

講師はインサイドライン編集長の歳川隆雄さん

演題は「自民党総裁選と日本の行方」

# 視点



## 消費のかたちが変わる

歌手の安室奈美恵さんの引退が9月16日に迫り、惜しむファンの熱狂ぶりが話題となっています。

音楽映像作品がミリオンセラーを大きく展開しました。

ここまで紙面を割いた理由の一

つは、この稀代のアーティストの引退がひとつ時代の終わりを象徴しているからです。安室さんは

1990年代、小室哲哉さんのブロデュースなどで大ヒットを次々と放ち、1枚のアルバムの売り上げが300万枚を超えたこともありました。CD市場が巨大化し、

公演といった舞台イベントの市場規模が昨年、5151億円に達したそうです。これは実にシンボリックな現象です。CDに代わり、ライブ市場が音楽活動の主力になつているのです。

「J—POP」という言葉が生まれた時代です。

ところがインターネットの普及が、市場の拡大に終止符を打ちます。ネットで好きな楽曲を手に入

れられるようになり、もはや音楽は高いお金を払って聴くものではなくなりました。横浜駅ビルに大きなスペースを確保していたCDショップがどんどん縮小し、あつという間にフロアの片隅に追いやりされた光景には衝撃を受けました。

それでは音楽業界は今、貧苦にあえいでいるのかというと、意外にも活況にあるというのです。

まあ総研が興味深い調査結果を公表しました。コンサートや演劇公演といった舞台イベントの市場規模が昨年、5151億円に達したそうです。これは実にシンボリックな現象です。CDに代わり、ライブ市場が音楽活動の主力になりました。ネットを通しての販売も影響力を發揮しました。去りゆく時代と到来する時代、二つの象徴するスターでした。現在の安室現象は、社会の転換点を告げるセレモニーとも感じられます。

「モノ」から「体験」へと消費の軸足が移り変わつていった——ところがインターネットの普及音楽ジャーナリストの柴那典さんは「ヒットの崩壊」（講談社現代新書）で、こう分析しています。

（神奈川新聞社編集委員

丸山 孝）

コンサートや音楽フェスが多数を動員できるようになり、ライブ収入だけで食べていただけるようになります。90年代は、ひとつ曲がヒットしても下火になればたちまち生活が苦しくなりました。柴さんの著書は、音楽業界の構造的変遷について詳細に教えてくれます。

安室奈美恵さんは、90年代を代表する歌手であり、大規模なライブを成功させるパフォーマーでもありました。ネットを通したコメントも影響力を發揮しました。去りゆく時代と到来する時代、二つの象徴するスターでした。現在の安室現象は、社会の転換点を告げるセレモニーとも感じられます。

新聞や出版も、新しいビジネスモデルの鉱脈を探し当てることが多いのですが。